

第2 平成26年度 検討の概要

【平成 26 年度 検討の概要】

1 優先して検討する項目の抽出

- ・愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会の小島座長及び利水チーム委員（伊藤委員・蔵治委員・富樫委員）の意見を踏まえ、平成 25 年度に引き続き、庁内検討チームの平成 26 年度の検討課題として、次の 2 項目を優先して検討することを確認した。
 - ・知多半島の水源転換に関する検討
 - ・福原輪中の塩害防止に関する検討

2 平成 26 年度の検討作業の内容

- ・上述の優先検討 2 項目に加え、愛知県の率先的行動の一つである「愛知県・名古屋市での節水努力の呼びかけ」についても、昨年度に引き続き、その活動を取りまとめた。
- ・以上より、今年度の愛知県の率先的行動に係る検討作業の内容を一覧表にまとめると、次のとおりとなる。

愛知県の率先的行動	検 討 作 業 内 容	担 当 課	資 料 名
水道水の安定供給を確保しつつ行う知多半島の水道水源の切り替え	1 知多半島の水源転換に関する検討	土地水資源課（班長） 水道計画課	—
	(1) 岩屋ダム及び愛知用水系ダムからの補填について	土地水資源課	資料 1
	(2) 岩屋ダムに振り替えた場合に想定される課題の検討（その 2）	水道計画課	資料 2
	(3) 長良導水の復元（堰上流域の淡水化）の検討	土地水資源課	資料 3
福原輪中についての塩害防止に関する調査	2 福原輪中の塩害防止に関する検討	農地計画課	資料 4
愛知県・名古屋市での節水努力の呼びかけ	3 愛知県・名古屋市での節水努力の呼びかけ	土地水資源課（班長） 産業立地通商課 農地計画課 水道計画課 水道事業課	資料 5

3 検討結果の取扱い

- ・今年度行った検討の結果（資料 1～資料 4）は、あくまで庁内検討チームが独自にとりまとめたものであり、国や他県など関係機関との協議・調整は了していない。また、資料中のシミュレーション結果や概算費用等についても、あくまで独自に検討・試算したものである。